

2018年7月6日

各 位

一般社団法人全日本テコンドー協会  
会 長 金 原 昇  
専務理事 阿 部 海 将  
専務理事  
事務局長 大 橋 卓 生



## 2018モスクワGPエントリーに関するご報告

平素より当協会の活動に多大なるご協力をいただきまして、格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

今般、本年8月10日より開催される2018モスクワGP（以下「本件大会」といいます。）のエントリーに関して、以下のとおり、当協会の不手際により、一部の選手がエントリー期限までに申請されておらず、エントリーに漏れていることが判明しました。このような不手際によって、選手が国際大会への出場ができないという事態を生じさせてしまい、エントリーに漏れた選手には多大なご迷惑をお掛けしてしまい、心からお詫び申し上げます。また、当該選手の所属先の皆様をはじめとする関係者の皆様につきましても、多大なご迷惑をお掛けしてしまい、心からお詫び申し上げます。

今後はこのような事態を招かないよう、当協会全体の事務体制を見直して参ります。

### 1 発覚の経緯

本年7月4日、当協会強化委員会（以下「強化委員会」といいます。）委員より、当協会事務局（以下「事務局」といいます。）に対し、電話で、松井隆太選手、鈴木セルヒオ選手、山田美諭選手の本件大会へのエントリー状況について確認の連絡がありました。事務局にて本件大会のエントリー状況を確認したところ、松井隆太選手のみしかエントリーされていないことが判明しました。

### 2 本件大会のエントリーに関する状況

詳しい事実経緯については、別紙のとおりでございます。

### 3 本件大会へのエントリー漏れの原因

#### (1) メールの送信ミス

本件大会のエントリーについては、強化委員会から事務局に対して、本件大会へエントリーする選手を通知することにより、事務局は、通知

された選手を本件大会へエントリーすることになっていました。

そして、本件大会へのエントリーに関するやり取りは、メールにて行われているところ、強化委員が事務局に送った追加のエントリーを要請する6月25日9時27分のメール及び3名の選手の追加登録を確認するメールは強化委員会MLにのみ送られており、事務局メールアドレスには送られていませんでした。送信時にメールの宛先を確認するといった確認作業が不十分でした。

#### (2) 報告が明確になされていなかったこと

事務員は強化委員会に対して、本件大会へエントリーが完了した旨のメールを強化委員会に送っていますが、エントリーが完了した選手の具体的な名前の記載がありませんでした。上記(1)の事実と相まって、強化委員会は3名の選手のエントリーが完了したと誤解を招くこととなりました。

#### (3) エントリー締切前の相互確認ができていなかったこと

エントリー状況について、エントリーの締切前に事務局及び強化委員会が相互にエントリー内容を共有して確認作業を行っていたら、今回のような事態は防ぐことができました。しかしながら、こうした確認作業ができていませんでした。

### 4 今後の改善策について

#### (1) 連絡漏れのないチェック体制を構築します

メールは便利な通信手段ですが、相手先に届かないというリスクがあり、また内容が言葉足らずであった場合には誤解が生じる原因にもなります。そこで、メールを送っただけですべてが伝わったと過信することなく、正確なコミュニケーションをとるべく、メール以外の手段も活用するようにいたします。

大会エントリーなど重要な事務については、締切前のエントリー内容の相互確認を実施するほか、エントリー申請フォームを作成し、強化委員長及び担当者が押印したうえで、事務局に提出し、事務局は当該フォームを基にエントリーを実施し、エントリーが完了したことを当該フォームに書き込んで、事務局長の確認を得て、強化委員会にフィードバックするなど情報を共有を図り、確実に事務処理ができる体制を構築いたします。

#### (2) 正確なコミュニケーションを徹底します

メールを送信する際には宛先を確認する、メールの内容について5W1Hをきちんと記入するなど漏れや誤解のないようにコミュニケーション

ンを図ることを徹底して参ります。

改めまして、モスクワGPのエントリーに漏れた選手及び関係者の皆さまには多大なご迷惑をお掛けしてしまい、心からお詫び申し上げますとともに、今後は二度と同じ事が起こらないよう、改善策の徹底を図る所存でございます。また、当該選手らの所属先の皆様はじめ関係者の皆様にも多大なご迷惑をお掛けしてしまい、心からお詫び申し上げますとともに、信頼回復に向けて全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援賜りたくお願い申し上げます。

以 上

《本件に関する問い合わせ》

専務理事 大橋卓生 電話03-3481-2732

(別紙)

## 事 実 経 緯

一部選手が本件大会へエントリーされていないことが判明したことを受け、当協会で調査したところ、以下の事実が判明しました（以下、全て2018年の日付です。）。

### 6月19日

World Taekwondoより、事務局に対し、メールにて、本件大会の開催通知、以下の選手への参加招集通知及びエントリー期限が「本年7月2日の17時（スイス現地時間）」であることの通知がありました。

#### 【招待選手】

鈴木セルヒオ選手、松井隆太選手、山田美諭選手、濱田真由選手

### 6月20日9時35分

事務局員より、強化委員会のメーリングリスト（以下「強化委員会ML」といいます。）宛てに、また、送信者である事務局のメールアドレス（以下「事務局メールアドレス」といいます。）を同報（CC）として、前記(1)の内容のほか、「エントリーの締切は7月2日（月）厳守です。」との通知をしました。強化委員会MLには、強化委員長、委員、スタッフの各メールアドレスが登録されておりますが、事務局メールアドレスは登録されておられません。

### 6月24日15時43分

強化委員より、強化委員会ML及び事務局メールアドレス宛てに、また、送信者である強化委員のメールアドレスを同報（CC）として、本件大会へエントリーする選手として松井隆太1名のみをエントリーするよう連絡をしました。

### 6月25日9時27分

強化委員より、強化委員会ML宛てに、また、送信者である強化委員のメールアドレスを同報（CC）として、前記(3)の選手に加え、鈴木セルヒオ及び山田美諭を追加でエントリーするよう連絡をしました。しかし、このメールには事務局メールアドレスが設定されておらず、事務局は受信していませんでした。

6月25日11時35分

事務局員より、強化委員会ML宛てに、また、送信者である事務局メールアドレスを同報（CC）として、本件大会のエントリーが完了した旨の連絡がありました。しかし、このメールには具体的に誰のエントリーが完了したか明記されていませんでした。

6月25日12時31分

強化委員より、強化委員会ML宛てに、また、送信者である強化委員のメールアドレスを同報（CC）として、本件大会へエントリーした選手として、「松井、鈴木、山田」で登録をしたかどうか確認の連絡をしました。しかし、このメールには事務局メールアドレスが設定されておらず、事務局は受信していませんでした。